

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------|-----|-------------|
| ○事業所名 | 尚生こども園 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年1月19日 | | ～ 令和8年1月23日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 10名 | (回答者数) 10名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年1月19日 | | ～ 令和8年1月23日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 2名 | (回答者数) 2名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年1月30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 年々利用者様が少なくなっているが、児童生徒一人一人に目をかけることができ、丁寧に支援することで信頼関係を築けていること。家族支援も含めて適宜行われている。 | 季節ごとの創作活動を取り入れたり、園外活動を通しての体験(ワークショップや買い物体験)やハロウィンでは地域との交流をしている。 | 小学生から高校生まで幅広く年齢に応じた日常の対応や創作活動の内容を心がけている。 |
| 2 | 学校や自宅への送迎を通して特に自宅へ送り届ける際、園での様子や成果物を渡すことで本人の頑張り共有している。ご家族と連携しながら子どもの成長を見守ることができている。 | 月に一度のペースでホームページに園の様子や活動の内容を載せている。 | 今後はホームページのみならずSNS等も活用しながら当園の広報活動を充実させたい。 |
| 3 | 身近に就Bの大人たちが働いているのを見ることができ、場合によっては体験もできるので、特に高校生は将来の就労について参考になる。 | 普段から利用者様をよく観察し必要があれば職員間で共有したり、保護者様に伝えたりしている。 | 遠方からの利用者様もいることから送迎に関してはより安全運転を心掛け安心して利用していただけるよう取り組んでいる。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 年々利用者様が減ってきているのが現状なので、広報活動を充実させていかねばならないと感じている。SNS等を活用していくことも大事であるが、保護者様との連携により広くお声がけをしていく必要がある。 | 情報機器の取り扱いに不得手な面があり取組に推進力がないこと。 | 専門の業者に依頼したり、様々な情報を収集しじっくりと腰を据えて魅力ある発信ができるような取組が必要。 |
| 2 | 利用者様が高校卒業後、そのまま就労継続支援B型に移行して欲しいところだが、一般就労や就労Aを目指しているため利用者様の希望は他の事業所に向いている面があること。 | 事業所の規模が小さいという事もあるが、本人や保護者様との面談の中で希望を聞きながら現状と突合せ考える機会を設ける必要がある。 | 小学生から高校生まで幅広く年齢に応じた日常の対応や創作活動の内容を工夫していくことが必要。 |
| 3 | | | |